

晴れた日も、雨の日も風の日も

50年間走ってきました。

…そしてこれからも～…

自動車図書館サービスを存続させよう！！

—市内全域への図書館サービスを支えているのは自動車図書館です—



名古屋市は、22年度予算案で自動車図書館廃止の方針を明らかにしました。「利用が減っていることは事実」として、河村市長は廃止を支持しています。しかし、利用総数の減少はこれまでのサービス削減によるもので、残った駐車場での利用は減っていません。

図書館利用に障害を持つ、最も弱い立場の利用者の切捨てにつながる方針に私たちは疑問を抱いています。

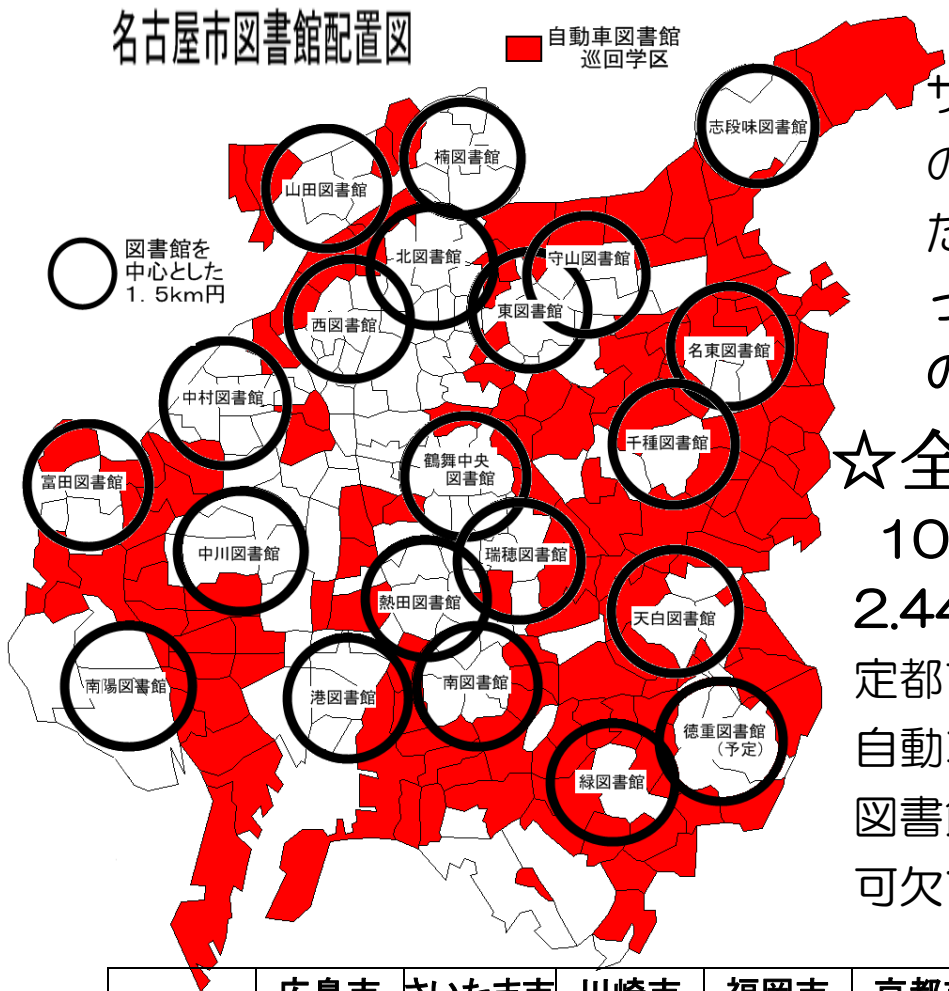
自動車図書館サービスは、子育て支援・高齢者支援にも直結しています。サービスの存続を訴えるために、1通でも多くの声をよせてください。

これからも自動車図書館サービスは必要であると
私たちは思っています。 <自動車図書館を考える職員有志の会>

(連絡先: nagoya.bm@gmail.com 塩沢 (自治労名古屋教育支部/名古屋市職労教事支部))

☆自動車図書館は、もっとも効率的な図書館サービスです！！

名古屋市図書館配置図



自動車図書館には、年間4万人・20万冊の利用があり、サービス地域は、名古屋市全域です。これまでの人員削減の結果、H9には12名で担当していた業務を、現在では、たった1名の職員が担当しています。自動車図書館は、もっとも低いコストで、もっとも大きな効果を生み出すことのできる、優れて効率的な図書館サービスです。

☆全域サービス/高齢者サービスに不可欠

10万人当りの図書館数は、名古屋市は0.93と全国平均2.44を大きく下回っています。人口が多く市域の広い政令指定都市の図書館はほぼすべて、少ない図書館数を補うために、自動車図書館を運行しています。また、自ら移動できる自動車図書館は高齢者・障害者などの社会的弱者へのサービスにも不可欠です。決して過剰なサービスではありません。

	広島市	さいたま市	川崎市	福岡市	京都市	神戸市	札幌市	名古屋市	大阪市	横浜市	国内平均	G7 各国平均
人口	114万人	118万人	131万人	136万人	139万人	150万人	187万人	215万人	251万人	356万人		
10万人当図書館数	0.96	2.04	0.91	0.73	1.22	0.73	0.53	0.93	0.96	0.51	2.44	5.46
BM台数	1	1	1	—	1	1	—	2	2	1		
サービスポイント	16	24	20	—	40	35	—	128	82	19		